

あべともこニュース

臨時国会開会。問われる経済対策と旧統一教会との断絶を

◆第212国会、平和外交と暮らしの下支えを。

四ヶ月近くの休会を経て、10月20日から臨時国会が始まりました。長引くロシアとウクライナの戦闘に加えて、イスラエルによるパレスチナガザ地区への侵攻が迫っています。国際社会の総力を上げて何としてもこれを止めて、更なる戦争に向かおうとする世界の流れを止めねばなりません。

戦禍が拡大すれば核戦争の危機も高まります。

9月下旬、東アジアにおける非核地帯構想について、エドマーキー上院議員との面会の為、訪米しましたが、核の先制攻撃をさせない歯止めが今何より必要と思います。

日本でも軍事費は増大させる一方、国民の暮らしはますます厳しくなっています。思いつきの所得税減税云々ではなく、本当に国民の望む減税や給付のあり方がしっかり論じられる国会としたいと思います。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
 当選8回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともこ子ども
 クリニック（湘南台）理事長
 現在、厚生労働委員会
 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、
ボランティアスタッフ募集



泉さんとの掛け合いも最高でした！

◆デジタル対応困難者への支援を

社会保障制度が充実したスウェーデンはデジタル化先進国でもあります。17世紀スウェーデン教会が始めた人口登録を起源に1947年個人番号制度を導入。60年代後半にデジタル化が始まり、90年代にIT化が進展。91年には個人番号が税務庁の管轄となり正確な所得把握によって公平な年金制度改革が実現。正確なデータの“見える化”が、男女の所得格差是正につながったとも言われます。

一方、日本は2007年に「宙に浮いた年金記録」問題が発覚。反省の第1は行政における本人確認の徹底でしたが、未だに同様のトラブル続き。スウェーデンにはデジタル機器の対応が困難な人への支援もあります。有人の電話対応や対面窓口の確保。福祉サービスはケースワーカーが支援。デジタル機器を使えるよう公共図書館で訓練を受けたスタッフによる無料サポートも。デジタル化の哲学の違いです。

◆まち・地域・政治を変える政策とは？

12日、泉房穂氏（前明石市市長・元衆議院議員）を講師に迎え「まち・地域・政治を変える子ども・子育て政策」と題しての講演会を藤沢市民会館で開催。

明石市は、10年連続人口増で住み続けたい街ランキングでも上位！その訳は、市独自の5つの無料化にあります。医療費・保育料・おむつ・給食費・遊び場など、子どもの成長に関わる場面において、所得制限と自己負担なしでの施策が実行され、「子どもを核としたまちづくり」が実践されています。

「やさしい社会を明石から、当たり前前の社会を実現していくことで、全国に優しい強い町が波及していく」と泉さん。税金の使われ方を見直すことで、子ども・子育て政策を前進できたというその取り組みに一同、目から鱗。困った人に寄り添う熱い想いを語り尽くされた泉さんと共に、藤沢・寒川からも本気で取り組みます！